

報告

ヨッテクに参加して

余暇活動支援グループ スキップ♪ 下河辺 治美

毎年家族の恒例行事である「ヨコハマ・ヒューマン&テクノランド 2015 (愛称ヨッテク)」。今年は1日目に大和市肢体不自由児者父母の会の日帰り旅行、2日目に家族で参加させていただきました。近隣の市で開催されること、その後にみなとみらい地区を散策できること、お勉強もできてレジャーもできるという贅沢な二日間を過ごしてまいりました。

展示会場には主催者でもある横浜市リハビリテーション事業団(横リハ)の職員さんが、職種が書いてあるベストを着ていらして、相談事があったらすぐに対応してもらえると、なんともうれしい状況で、展示会場で物を見て、地域の役所に出向いて相談し…という手順がショートカットされ、まさにかゆい所に手が届く支援、素晴らしいなと感じました。

さて、たくさんある展示ブースの中で息子のお気に入り「おもちゃで遊ぼう!学ぼう!」ブースにあった「サンズ・アライブ~天使の砂~」という不思議な感触の砂のおもちゃでした。息子は手でフワフワの砂を触りながらニコニコの様子。口でも楽しもうとしていたのはさすがに私が阻止しました(図1)。またバス



図1 砂を口に運ぶ様子

が大好きなので、会場に来ていた横浜市営バスに何度も乗せていただき、大満足だった様子(図2)。私はというと、彼の車いすの座面クッションのフィットリングをさせていただき、今後の車いす作成にお知恵を貸してもらいました(図3)。



図2 市営バスの運転席にて



図3 クッションのフィットリング

今年のヨッテクのテーマは「探しに行こう!暮らしに生きるリハビリテーション」。今年30歳になる息子は、重度の知的障害と側弯症を抱えており、歩行が不安定のため長距離は車いすを利用、単距離は自力歩行をしています。最近は自力歩行の距離が増え、そのおかげで体力もついてきたようで、興味が増し、どんどん歩きたがるようになりました。それも

余暇活動支援グループ スキップ♪
〒246-0021 横浜市瀬谷区二ツ橋町468

これも昨年作成した「体幹装具」のおかげ。傍から見ると身体を締め付けかわいそうに見えてしまうものですが、本人にとっては自分の生活を豊かにする素晴らしいものようです。日常の中で色々な道具や装具を活用して、気持ち的にも身体的にも快適な生活を送り、いろんな経験を積めることは、本人にとっても家族にとってもすごく喜ばしいことだと思います。

私たちは3年前から横リハ研究開発課のお力添えをいただき、息子の卒業した養護学校をお借りして「福祉機器体験会」を開催しています。今回のヨッ

テクの縮小版とでもいいでしょうか、在校生や地域の方々に福祉機器を紹介、体験してもらう良い機会となっています。大きな会場にはなかなか出向けない方々も困り感は変わらない。横リハさんのご協力で末端にまで手が届くようになってきている感じは本当に嬉しい限りです。

関係者の方々のご尽力で私たちは快適?に近い生活が送れるようになってきております。今後のヨッテク開催もとても楽しみ。またたくさんヒントを私たちに届けてください!!